

令和7年度 島根県教育職員（実習助手）採用候補者選考試験  
専門教養試験 問題用紙 水産

注意 答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。

第1問題 次の文は海流について説明したものである。ア～オにあてはまる語  
または数字を、A～Lから選び、記号で答えよ。

海流は水平方向に流れている。海の中には鉛直方向の流れもあるが、この流れの上下運動は小さく、1日1m程度の流速であることから海流とは呼ばず、下層から上層へ昇っていく流れを **ア** と呼んでいる。

日本近海には大きく分けて四つの海流が流れている。南のフィリピンあたりから流れてくる黒潮と、途中で日本海へ分かれる **イ** の暖流、そして北太平洋やオホーツク海から流れてくる **ウ** と間宮海峡付近から南下してくる **エ** の寒流がある。

黒潮は北赤道海流の一部であり、幅は約100km程度、速度は速いところでは **オ** ノットにもなり、メキシコ湾流と並んで世界最大規模の海流である。

- |       |        |        |           |
|-------|--------|--------|-----------|
| A 4   | B 6    | C 8    | D リマン海流   |
| E 親潮  | F 赤道反流 | G 日本海流 | H 東カラフト海流 |
| I 沈降流 | J 対馬海流 | K 潮流   | L 湧昇流     |

第2問題 図1はカルシウムの多い食品を表したものである。①～⑤の名称をA～Eから  
選び、記号で答えよ。

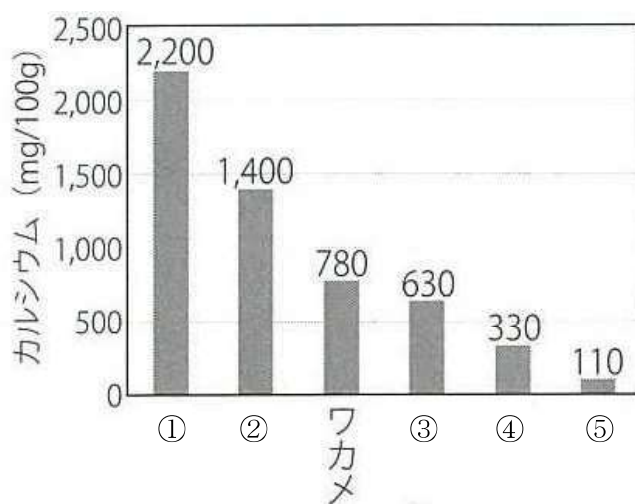


図1

- |        |       |      |       |       |
|--------|-------|------|-------|-------|
| A シシャモ | B 煮干し | C 牛乳 | D チーズ | E ヒジキ |
|--------|-------|------|-------|-------|

第3問題 次の(1)～(5)は漁獲法を説明した文である。(1)～(5)の漁獲法の名称を答えよ。

- (1) 1本の長い幹縄に、釣針の付いた多数の枝縄を取り付けて餌を付けて海中に投下し、一定の時間をおいてから幹縄を巻き揚げて魚を取り込む漁業
- (2) 漁場を探索し、発見したカツオの群れに活き餌をまくとともに、海水シャワーを散水し、擬餌針のついた釣竿で一尾ずつ釣り上げる漁業
- (3) 網漁具を一定の場所に設置し、回遊してきた魚を落とし入れてとる漁業
- (4) イワシ類、アジ類、サバ類、カツオ、マグロ類など、大きな群れをつくって回遊する魚を対象とし、網で巻いてとる漁業
- (5) 目的の魚を網目に刺させたり、エビ・カニ類を網地に絡ませてとる漁業

第4問題 次の文はマガキの養殖について説明したものである。[ア]～[オ]にあてはまる語または数字を、A～Lから選び、記号で答えよ。

マガキは古くから養殖対象の貝類として育成されてきた。近年では、[ア]場に旬を迎える内湾性のマガキに加え、[イ]場に旬を迎える外洋性のイワガキの養殖も盛んになってきた。

マガキの幼生は、[ウ]が20℃以上になった頃、受精やふ化を経て、多数海水中に浮遊する。産卵から[エ]日ぐらいで幼生が付着するので、この時期に[オ]やカキ類などの殻を用いた採苗器で天然採苗する方法が一般的である。

- |        |         |      |         |
|--------|---------|------|---------|
| A 春    | B 夏     | C 秋  | D 冬     |
| E アカガイ | F ホタテガイ | G 気温 | H ヤコウガイ |
| I 10   | J 20    | K 30 | L 水温    |

第5問題 図2は河川通航標識を表したものである。①～⑤の名称をA～Iから選び、記号で答えよ。



図2

- |         |           |             |
|---------|-----------|-------------|
| A 追越し禁止 | B 上空高制限   | C 行会い・追越し禁止 |
| D 引き波禁止 | E 回転禁止    | F 船舶等通航禁止   |
| G 喫水制限  | H 動力船通航禁止 | I 水上オートバイ禁止 |

第6問題 次の(1)～(5)は船体の構造を説明した文である。(1)～(5)の名称をA～Lから選び、記号で答えよ。

- (1) 船の外板が形作る船体そのもの
- (2) 船体の最下部にあって、船首から船尾まで通っている主要部材で、船体の縦の強度を保つもの
- (3) (2)に取り付けられ、船体の横の強度を保ち、外板を支える主要材
- (4) (3)の上端を連結する構造材で、横の強度を保つものであり、この上にデッキが張られる。
- (5) 船体最後部を構成するもので、船外機や船内外機のドライブユニットがここに取り付けられる。

- |        |         |        |         |
|--------|---------|--------|---------|
| A クリート | B トランサム | C チャイン | D フレーム  |
| E バウアイ | F ブルワーク | G ビーム  | H ラダー   |
| I ハル   | J ガンネル  | K キール  | L フェンダー |

第7問題 7海里先の港までの間を往復しようとする場合、船の平均速力を10ノット、燃料消費量を毎時25リットルとすれば、保有しなければならない燃料の量はいくらか、求めよ。ただし、2割の予備燃料を加えるものとする。なお、解答は計算過程も含めて記入すること。

第 8 問題 図 3 はディーゼル機関の動圧過給方式を表したものである。①～⑤の名称を答えよ。

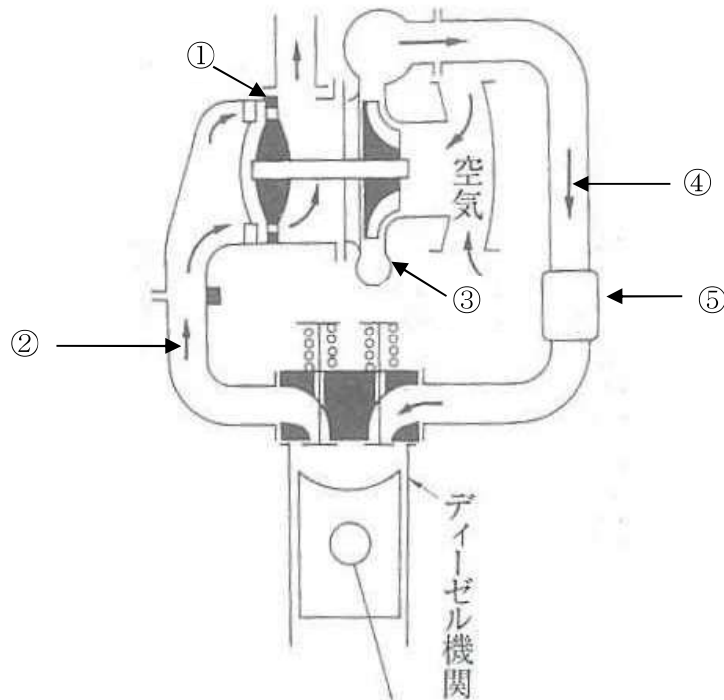


図 3

第 9 問題 図 4 は被覆アーク溶接棒によるアーク溶接を表したものである。①～⑤の名称を答えよ。

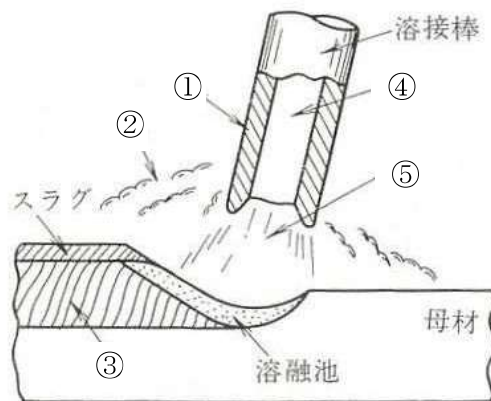


図 4

第 10 問題 次の文はタップ作業について説明したものである。ア ~ オ にあてはまる語または数字を答えよ。

タップは ア を切る場合に用い、この作業をタップ立てという。タップで完全なねじを切るには、その下穴を正しくあけねばならない。ねじの外径に対する下穴の割合は 78 ~ イ % で、大きなねじほどその割合は大きい。

タップは 1 番、2 番、3 番の順に使い、その中心を下穴の中心に ウ させることが必要である。タップハンドルはタップの径に適した大きさのものをを選び、ハンドルを エ で平均に回す。2/3 回転まわしたら 1/3 回転戻し、刃先の切りくず除去と オ の浸透を図り、切り終わるまでこれを繰り返す。